



学力の伸長と豊かな心

主幹教諭 関谷 宣明

<前頭葉の発達ピークは10代から！>

人間が他の動物と大きく違うのは、高度なコミュニケーションを取りながら、感情をコントロールし、理性を獲得してきたことと言えます。その感情のコントロールを司るのが前頭葉です。（右図参照）

前頭葉には、記憶する、集中する、応用する、判断する、やる気を出す、といった働きもあることが知られています。まさに、学力の伸長に関係する脳の働きです。

では、どのようにすると前頭葉が発達するのでしょうか。

前頭葉は、主語が理解できないと言われていす。ですから、人から言われた言葉も、自分で発した言葉も全て自分のことと捉えています。

そのため、人に悪口を言うと、前頭葉は自分が悪口を言われた時と同じ状態になります。つまり、相手の悪口を言うと、自分自身に悪口を言っていると判断し、自分の前頭葉を傷つけていることになるのです。これでは前頭葉を退化させています。

反対に、自分自身で「ぼくって天才！」「わたしって最高！」と言うと、前頭葉はそれを認識し、活性化します。また、「ありがとう！」「よくできるね！」「嬉しいよ」「えらいね」「上手だね」等、前向きになれる言葉を掛けたり、掛けられたりすることで活性化します。当然、前頭葉が発達することになります。もちろん、気持ちも前向きになります。しかも、前頭葉の発達のピークは10代から始まると言われています。学力の伸長期が10代にあるのも頷けます。



<2月はふれあい月間>

いじめ防止と温かな人間関係育成のため、「挨拶運動」を昨年に続き実施します。挨拶は、誰とでもできるコミュニケーションの一つです。昨年は、代表委員会を始め、それを6年生が引き継ぎ、そして5年生が受け継ぎました。2月は4年生を予定しています。挨拶があふれる谷原小学校に3学期もしていきます。

今後も、全学級で「挨拶と前向きになれる言葉があふれ」「前頭葉の発達が促され」「学力が伸長し」「温かな人間関係が構築され」そして「豊かな心が育まれる」、そんなすてきな谷原小学校にしてまいります。

2月の予定

日	曜	予定	日	曜	予定
1	水	SC	16	木	社会科見学4年
2	木	安全指導日	17	金	研究発表会準備のため5時間授業 SC
3	金	健康の日、新1年生保護者会 SC	18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	クラブ
6	月	委員会	21	火	研究発表会準備のため5時間授業
7	火	避難訓練	22	水	研究発表会（※授業学級のみ5時間） SC
8	水	SC	23	木	天皇誕生日
9	木		24	金	保護者会（5年生） SC
10	金	SC	25	土	
11	土	建国記念の日	26	日	
12	日		27	月	クラブ
13	月	クラブ見学3年生 保護者会（やわらぎ）	28	火	保護者会（6年生）
14	火	社会科見学6年	SC…水曜日が須長先生 金曜日が太浦先生 ※22日（水）の研究授業学級は、各学年 日よりお知らせします。		
15	水	特時、教員研修会のため4時間授業 保護者会（やわらぎ） SC			

東京都教育委員会指定

「令和4年度5年度体育健康教育推進校」研究発表会（中間）にむけて

研究推進委員長 吉川 真由

本校は今年度からの2年間、東京都教育委員会の指定を受け研究を進めています。1年生～6年生の各学級およびくすのき学級で体育の研究をしてきました。

また、学年の先生だけでなく、専科の先生やICT委員会の先生方の力を結集し、「一人1台端末を体育の授業でどう活用すると、子供たちの支援になるのか」を考え、教材を開発し実践してきました。

22日（水）には、1年目の成果と課題を中間発表として、区内の先生方に発表をします。

これからも谷原っ子の体力向上と健康の保持増進のため、研究を進めていきます。



◇ 令和4年度 保護者・児童アンケートの結果について

教務主幹 関谷 宣明

令和4年12月に保護者の方と児童にアンケートを実施しました。(児童数760の内、保護者の方に回答いただいた数473件62%の回答をいただきました。)ご協力に感謝いたします。概ね肯定的な評価をいただきました。アンケート項目のうち、保護者と児童の共通項目についてお知らせします。

項目	児童 (%)	保護者 (%)
<u>分かりやすい授業が行われているか</u>	93.4	81.6
家庭学習の習慣が身に付いているか	81.9	83.7
<u>読書の習慣が身に付いているか</u>	72.1	53.9
落ち着いた学校生活となっているか	87.2	84.7
思いやりのある子供に育っているか	86.6	90.0
<u>すすんで挨拶しているか</u>	87.4	67.4
家庭や地域のきまりを守っているか	90.3	92.0
早寝早起き朝ごはんなどの生活習慣が身に付いているか	82.6	89.4
危険から身を守る力が付いたか	86.4	78.2
<u>地域への親しみをもっているか</u>	89.9	69.6

今年度は、出席番号制による土曜公開授業、学年入替による運動会、学級入替による音楽会、谷原っ子まつり、高学年の移動教室(2泊3日)、各学年の遠足や社会科見学、生活科見学等、感染防止対策を施しながら、できる範囲内で工夫しながら行事を実施してきました。コロナ禍以前と同じように比較することが困難な面もありますが、アンケート結果から考えられることを記載します。

「分かりやすい授業が行われているか」について

児童の結果は、7月よりも1.6ポイント、保護者の方の結果は7月よりも0.8ポイント上昇でした。保護者の方で「分からない」との回答が14.6ポイントありました。来年度以降も、どの児童にとっても「分かりやすい授業」「個別最適な学び」の実現に精進してまいります。

「すすんで挨拶をしているか」について

この項目では、保護者の方の肯定的回答が7月よりマイナス3ポイントとなりました。11月に代表委員会や6年生、12月に5年生が実施した挨拶運動の成果が、児童や教職員に留まり、家庭や地域にまで広がっていないことが伺えます。コロナ禍では、マスク着用が当たり前になり、元気よく挨拶をするということが難しい面もあります。家庭や地域でも気持ちの良い挨拶ができるよう、引き続き指導をまいります。ご家庭におかれましても、声掛けをお願いいたします。

「地域への親しみをもっているか」について

児童においては、この地域に親しみをもっている割合が高い傾向が、コロナ禍以降続いています。多くの地域行事が中止になる中、地域が好きであったり、地域の役に立ちたかったりする傾向が高く出ています。反対に、保護者の方の傾向は、コロナ禍以降、67～72ポイントと以前の80ポイントに比較すると低い傾向が続いています。「地域の学校」としての役割を果たすべく、地域の方々と協議をしながら、できる行事を適切に実施していきたいと思えます。

「読書の習慣が身に付いているか」について

学校では、朝読書を週に3～4回、朝の時間に実施しています。また、年2回の読書週間を実施しています。朝の時間や読書週間に読書をする習慣は身に付いているものの、自宅等で読書をする習慣が身に付いていない様子が分かります。常に本を身近に置き、読書する楽しさやよさを引き続き指導してまいります。(児童は7月比マイナス2.4ポイント。保護者はマイナス2.7ポイント)

「自分にはよいところがある」「自分のしている仕事はみんなの役に立つ」について

表にはありませんが、児童アンケートのみの自己有用感に関する2つの項目の肯定的回答が回復傾向にあることが分かりました。(自分によいところがあるは76.9%、役に立っているは77.8%。昨年度よりプラス5ポイントずつ)

谷原っ子は、学年問わず当番活動や係活動、委員会活動などの自分の仕事にとっても意欲的に活動しています。それが、学級や学年などみんなのために役立っているのは教員からみて明らかです。

谷原っ子が、自分の仕事に誇りをもち自信が高まるよう、今後も教員の声掛け等を工夫し、谷原っ子の活動を価値付けてまいります。来年度は、更に自己有用感を高めさせたいと考えます。

